

白鷹町 70 年のあゆみ

2023 令和 5 年	2020 令和 2 年	2013 平成 25 年	2011 平成 23 年	2008 平成 20 年	2004 平成 16 年	2001 平成 13 年	1995 平成 7 年
▼ フラワー長井線 100 周年記念イベントを開催。 ▼ 地域拠点施設「白鷹の杜たかやま」がオープン。	▼ 白鷹町まちづくり複合施設が全面オープン。 ▼ 12 月 6 日、白鷹大橋が開通。	▼ あゆかい保育園、こぐわ保育園閉園。さくらの保育園が開設。 ▼ 7 月、記録的な大雨により蚕桑地区をはじめ各地で土砂災害が発生。 ▼ 白鷹町の古典桜 6 本が、新たに県指定文化財になる。	▼ 東日本大震災発生。白鷹町は震度 5 弱。大規模なインフラ停止。 ▼ 齋藤享将氏が相撲界に入門。四股名は「白鷹山」。	▼ 10 月 26 日、佐藤誠七町長による町政 1 期目スタート。 ▼ 白鷹・朝日・大江広域観光推進協議会が設立。 ▼ デマンドタクシー運行開始（蚕桑・鮎貝地区）	▼ 町誕生 50 周年を記念して、写真集「想い出写真館」を刊行。 ▼ 町が環境 ISO14001 認証取得。 ▼ 白鷹ニュータウン「四季の郷」分譲開始。	▼ 故紺野貞郎元町長に名誉町民の称号が贈られた。 ▼ いきいき深山郷「のどか村」がオープン。 ▼ どりいむ農園直売所がオープン（当時は土・日のみ営業）。	▼ 白鷹陽光学園が開設。 ▼ 「ホークス（鷹のまち）5 市町災害相互応援協定」を締結。 ▼ 国道 287 号畔藤バイパスが全面開通。



白鷹大橋の開通式
（令和 2 年 12 月撮影）



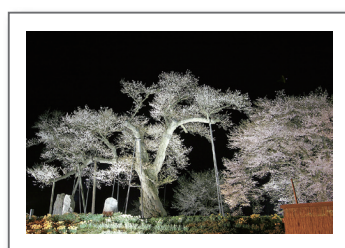
2 年連続で発生した豪雨災害
（平成 26 年 7 月撮影）



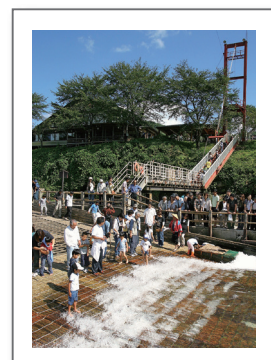
町誕生 50 周年記念式典の様子
（平成 16 年 10 月撮影）



まちづくり複合施設の完成
（令和 2 年 10 月撮影）



釜の越ザクラのライトアップ
（平成 21 年 4 月撮影）



ヤナ場の様子
（平成 18 年 10 月撮影）

白鷹町が誕生して 70 年。行政、自然環境、産業、生活、教育、文化など
激動の時代を経て、成長と発展を遂げてきたその歴史を振り返る―。

1992 平成 4 年	1989 平成元年	1986 昭和 61 年	1979 昭和 54 年	1977 昭和 52 年	1967 昭和 42 年	1958 昭和 33 年	1954 昭和 29 年
▼国道348号が全線開通。 ▼8月2日、第1回アジア国際音楽祭inしらたかを開催。 ▼べにばな国体の開催。成年女子ソフトボール競技が行われた。	▼8月26日、第1回ホークスサミット（東京都三鷹市）を開催。共同宣言を発表。 ▼ふるさとづくりシンポジウムの開催。	▼国鉄長井線について、第3セクターへの移行が決定する。 ▼町民保養センター「パレス松風」がオープン。	▼町誕生25周年を記念して、「町民憲章」「白鷹音頭」発表会を開催。 ▼9月2日、姉妹都市交流のため白鷹町民号が姉妹都市新潟県栃尾市（現・長岡市）へ出発。 ▼11月16日、新睦橋が完成し、渡り初めが行われる。	▼米飯給食が週2回になる。 ▼9月23日、第1回白鷹鮎まつりが行われる。	▼8月29日、羽越水害発生。最上川の堤防が決壊し、鮎貝、荒砥地区で甚大な被害。被害総額4億5,000万円（当時）。	▼1月29日、荒砥橋竣工式。 ▼2月、町内小学校完全給食を実施。	▼10月1日、荒砥町、鮎貝村、東根村、白鷹村、十王村、蚕桑村の1町5カ村が合併し白鷹町が誕生。人口26,749人。



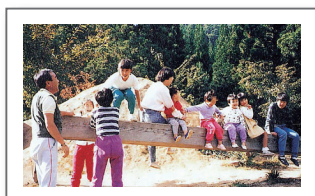
べにばな国体 吹奏楽隊
（平成4年10月撮影）



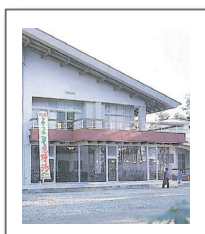
給食の様子（鮎貝小学校）
（昭和52年撮影）



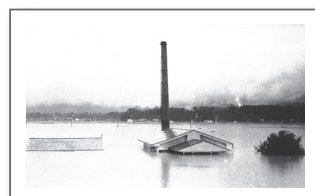
役場（旧庁舎）完成
（昭和39年10月撮影）



平成4年から学校が週5日制に
（平成5年撮影）



パレス松風オープン
（昭和61年撮影）



羽越水害の様子（火葬場周辺）
（昭和42年8月撮影）



国道287号畔藤バイパス一部開通
（平成6年撮影）



昭和40年頃の荒砥横町
（撮影日不詳）



荒砥橋 渡り初めの様子
（昭和33年1月撮影）